

茨城県立水戸第三高等学校同窓会  
あおい会  
だより  
第22号

発行所  
〒310-0011 水戸市三の丸2-7-27  
茨城県立水戸第三高等学校  
同窓会 あおい会  
TEL 029-224-2044  
FAX 029-225-4524  
HP: <http://www.mito3-h.ibk.ed.jp/>  
事務局 Eメール [akai@mito3-h.ibk.ed.jp](mailto:akai@mito3-h.ibk.ed.jp)  
印刷所 株式会社 きと印刷所



ごあいさつ  
あおい会会長 宮田 満里子(大曾根)  
(昭37・音)

平成29年の総会で同窓会の会長に、ご承認頂きました新会長の宮田満里子です。どうぞ宜しくお願い致します。前会長の加藤正子様には特に創立90周年記念行事に大きく貢献なさいました。そうした立派な業績を残された前会長の後を継いで、いったい私に何が出来たのか、事の重大さに身が引き締まる思いです。会長をお引き受けました。一体何から始めたら良いか正直不安な気持ちです。同窓会をより良い会にするためには、卒業生である皆様のお知恵やご協力が非常に重要だと思っております。同窓会の運営には緊張つ

た改革とか大転換は不要で、率直な意見や本校を大切に思うあおい会の会員・幹・役員一人ひとりの心ふれ合いが、大切なのだと思います。とは言え何をすれば良いのか、何から始めなければならぬのか、宇宙遊泳している飛行士が手足をいたずらに動かし、空をつかんでいる様子が今の私です。手探りの状況の中ではありますが、まず活動を進めるにあたり、他校の同窓会の様子を視察して見ることも、これからの活動の参考になるのかもしれないと考え、常任幹事の皆様に出かけ、昨年9月には、水戸一高同窓会(知道



ご挨拶  
学校長 森田 浩一

日頃より、あおい会会長宮田満里子様をはじめ会員の皆様には、本校の教育振興のために、格別のご支援とご協力を賜り、心から御礼を申し上げます。

また、昨年の6月をもって退任されました前会長の加藤正子様におかれましては、本校創立90周年記念事業をはじめ、格別のご協力を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。

さて、今年度本校は、「進路希望の実現できる学力の向上」や「三高生らしさ」という伝統の継承・発展を主な目標に定め、生徒たちが主体的に行動し自らの目標を実現させるとともに、人として大きく成長させるべく支援を、保護者

共々「オール三高」で行ってまいりました。

成果は、3年音楽科の富永春菜さんが全日本学生音楽コンクールにおいて、第一位を獲得できたことに代表されるように、昨年に比べ、各種コンクールでの入賞や関東大会・全国大会への出場など、校外においての活躍が目覚ましく、一定の結果を取れた嬉しい一年となりました。

次年度に向けましては生徒の実態をしっかりと把握し、今年度の反省を学校全体の課題として捉え、生徒・保護者・教職員共々「オール三高」の精神で、魅力ある学校づくりに取り組んでまいりたいと思います。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

結びに、あおい会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。

2018年同窓会

あおい会・総会・懇親会

日時 7月1日(日) 11:30

会場 ホテルレゾナンス水戸

申し込み 6月11日まで

## 2017年同窓会 あおい会・総会・懇親会

会場 大洗シーサイドホテル (6月25日、日)

### 平成29年度総会報告

昭52・卒

兼任職・前職事務所 友子(渡辺)



平成29年6月25日(日)に大洗シーサイドホテルに

て、平成29年度あおい会同窓会が開催されました。参加者は、来賓の方を含め71名でした。あおい会同窓会は、例年、卒業生に当番幹事をお願いし、中心となって会の運営や懇親会を華やかに演出していただきながら実施しています。

今年度の当番幹事は、昭和42・47・52・57・62・平成4・9・14年3月卒業の方々にお願ひし、同窓会当日を迎えるまでに3回の打合せをいたしました。

当日の様子を切り取ってご紹介いたします。後藤万里子さん(昭52卒)の開会のことばで始まり、加藤正子会長の主催者挨拶

河内副校長



笹木克之先生



宮田満里子  
新会長



加藤正子  
前会長



と森田校長先生のご挨拶の後に来賓の方々を代表して、旧職員の後藤万里子さんからご挨拶をいただきました。次に常任幹事の大臣さんが議長を務め、名司会により、円滑な議事進行で前年度の事業報告・決算報告、監査報告と今年度の事業計画・予算が承認されまし

た。加えて、今年は役員改選があり、加藤会長が退任され、宮田満里子副会長が新会長として承認されました。加藤前会長には花束が贈呈され、今までのご苦勞に感謝の気持ちを込め盛大な拍手が送られました。

午後からは、河内副校長先生の豪快な乾杯のご発声で懇親会がスタートです。楽しい余興が用意され、藤枝環さん(昭57卒)の司会で和やかに会は進みます。

・29年9月に行われた家政科によるファッションショーDVDを鑑賞しました。

・剣舞(板田門外の変)

現水戸三高生徒の保護者中沢さんご兄弟が華



尽くせません。どうぞ、あおい会同窓会にご参加ください。

百聞は一見にしかずです。

### 私と水戸三高の関わり

私と水戸三高の関わりは、高校在学の3年間よりも縁あって職員として赴任してからの8年間の方が深かったのではないかと思います。

平成9年4月に水戸三高に職員として赴任しました。

躍で力強い舞いを披露してくださいました。

・山本みゆきさん(昭57卒)の指揮で、「楽しく声をそろえて」と「夏の思い出」の二曲を合唱しました。

そして、加藤前会長の指揮により、校歌を全員で合唱する頃には同窓会が一番の盛り上がりを見せ、大曾根由美さん(昭52卒)の閉会のことばで盛会のうちに終了しました。

歌い終わった皆さんの笑顔は、高校生の少女の顔になっていました。会の楽しさは、文章では語り



あおい会のことをこの

時やつと知りました。卒業生ということで、即同窓会の校内幹事となり、以後8年間、毎年開催される同窓会あおい会の出席者のごり

まとめや名簿作成、会計係等で同窓会の皆様とは深く関わらせていただきました。

現宮田会長とも校内幹事として一緒に過ごさせていただきました。大変お世話になりました。少しでも母校のため、後輩のために

お役にたてればと思っています。あおい会のことを知ってください。

所 友子 記

## 恩師 特別寄稿

## 思い出は尽きず

矢須 きみ子(数学)

教職の三十余年に果たし得しものは何かただ茫々として

私より数年前に三高に転勤していた私の高校二年の時の担任だった西山先生が、職員室で私を迎えてくださったのが、昭和48年の春でした。「昔は教師と生徒、これからは教師として同等です。遠慮せずに精一杯動めてください」。先生は陰ながら応援してくださいました。教師になってよかったです、改めて思いました。

「いいえ」

「鬼の矢須と皆が言っています」  
そうだったのか。

そう言われれば大方の生徒が、恐ろしい先生、鉛筆を持つ手が震える、眼気が吹っ飛ば、等間こえてきた記憶もあるが、一見恐ろしうでも本当は面白い先生、誤魔化

しや、いい加減を嫌う先生等とも。今考えると愛らしいではありませんか

中には私のフアッションから性格を判断していた生徒もいたらしい。

すこし強く問へば深くむ女生徒を講義終りて省みるなり

答案を書く手休めて面あげ  
我を見る生徒の瞳輝く

数学の授業の合間の我が余談  
来しと生徒らどうにか随き来る

赴任草々、卓球部の顧問になっていました。私は運動は全然駄目でしたのでお断りしましたが、事情で引受ました。が、実際試合に引率してみますと、私には何のアドバイスも出来ず、生徒が可哀そうだった。更に自分も惨めだった。次年度には、外していただいた。初めて運動部の生徒と接し、明るく礼儀正しく教室では見られない生徒の一面を見愛いなど思いました。

教室の窓に吊せる風鈴を  
鳴らして六月の風の過ぎゆく

昭和50年代学生間でロングスカートと、ベチヤンコカパンが流行った。そのカパンの蓋の裏には他高の生徒の名前が刻まれている。回し持ちしていたらしい。その時担任していた生徒の中にその仲間に入っていた何人がいた。

毎日群れをなして校門をくぐり教室に入ってきた。勉強道具はすべて机の中にぎっちり。ある時番長と言われていた生徒が町主催の海外研修に参加したので推薦書を書いて欲しいと。親からも懇願された。しかし私は書けなかった。恨まれた。嫌がらせが続いた。卒業式当日まで。

やがてその生徒が成人式をむかえ  
この原稿の依頼がありパソコン  
に向かって書いていますと当時の

また結婚時期になった時写真に手紙を添えて送ってきた。当時の事は何もなかったかのように。逢うことはなかったが、今は逢って見たいと思う。

私は嫌なことがあるとよく重話を口ずさみつつ、教室に向かった。

茶髪して目立ちたい他何も無きか  
生徒らに言ひつつ涙出て来ぬ

教室棟の灯もはや消えて白飯糰の  
青白き光のみ闇に浮き立つ

遠慮がちにカメラを向くる生徒あり  
ポーズをとりて築港に立つ

往きも帰りも宅急便に荷を託す  
修学旅行も身軽となりぬ

定規と色チヨーク用いて  
ベクトルの講義する

白衣の袖を色に染めつつ  
学校新聞に我が退職を知る生徒ら  
残る授業は静かになりぬ

手短かに生徒を譽めて笑顔のまま  
拍手の中を職場去り来ぬ



## 今に続く矢須先生の授業

昭・59・昔  
大崎 眞弓(谷津)

那珂川沿いの道からハンドルを右に切り、登った先に現れる三高は今や水戸城址の風情。母校が美しく保たれ立派になってゆく様は卒業生として嬉しい限りです。

私が入学した昭和56年は、社会もバブル期へ向う手前で、水戸駅北口前に連なるテレフォンカード対応の電話ボックス群が目新しく印象的でした。

矢須きみ子先生とは高校2年の担任以来、有難くも35年のご交誼をいただいております。

矢須先生は当時からコンピュータの達人であられ、テスト結果の推移表等に先進的に活用なさる等、進路指導にも役立つデータを作っておられました。まだウィンドウズも存在せず、パソコンは購入しただけでは動かない時代で

したから、先生の先見の明はすばらしいものでした。一方で隠の努力は大変だったと推測致します。

お疲れの表情を隠そうと、化粧品のお色も変えてみたと笑っておられたのを覚えています。ジャケット姿で熱心に教えて下さる数学の先生でした。数学の苦手な私が何故、長いおつき合いとなったのか。きっかけはあおい会館でのクラス合宿でした。夕食でお隣りの席になりまして日常の事、家族のことなどを個別面談以上に詳しく親しくお話しすることができました。

私も大人になりました。後には、先生であり尊敬する先輩のようであり、いつも励ましていただいております。先生はいつでも「うちの子(三高生)は良い子ばかりだからね」と愛情一杯におっしゃいます。時に「娘が内気でして」と申せば「あなただつてそうだったわよ」と一言、先生は生徒一人一人を実に深く見て下さっていたのだと頭が下がりました。

現在は詩吟でも活躍です。数学に始まり人生の楽しみ方、健康の秘訣まで先生のお姿から授業は続いています。何歳になつてもいつまでも矢須先生の生徒です。末

永くお元気で、変わらぬご指導を宜しくお願い致します。

## コロンプスのまな板発案

発案の転換でグッドデザイン賞

(茨城新聞より)

城里町の大崎材木店の奥様である彼女は、コロンプスのまな板を発案した。これは2009年グッドデザイン賞と、いばらきデザインセレクション賞に選ばれ、2015年9月茨城新聞に掲載された。

そもそもきっかけは、木のまな板は、なかなか乾かないという友人の一言からであった。試作を重ね出来上がったのは側面を斜めにしたもので、水切れが良く、立てると接地面が少ないため乾きやすい、持ちやすく洗いやすい利点のあるものであった。



コロンプスのまな板

## クラス会だより

## 古希を祝うクラス会

昭・41・昔  
横田 芳子

卒業して52年。今年70歳になる私達は、古希を祝うクラス会を平成29年11月26日に「ホテルテラスサガーデン水戸」で開く事にしました。学校周辺も「水戸城跡通り」として、白壁に整備されたので、歩く会も一緒にしましょうと、昨年の12月初めに幹事3人で下見をしました。歩いてみて、校舎は建て替えられました。やはり素敵な環境の中で学生生活を送れた事を、嬉しく思いました。あとはお天気が心配です。週間予報が出る度に、雨のマーク無し、大丈夫、大丈夫、と当日を迎えました。17人出席の中1人が歩く会に参加しました。秋晴れの紅葉の中、懐かしい風景に話も弾み、あの頃通っていた通学路を歩き、三高の正門前から水戸二

中、附属小学校から大手門設置工事中の大手橋を渡り、会場のホテルへ向かいました。まず記念写真を撮り、乾杯の後、今年のおおいに出席された書家の福田さんからお話を聞きました。その時、校長先生から学校に書を寄贈してほしいとの事で、10月末から「常陽藝文センター」で個展を開催している所へお見えになり、書を選ばれ現在学校に飾ってあるそうです。その後、参加した人のお話になり、学生時代の事、卒業後初め



筆者は前列左から4番目

てクラス会に参加した人は、なんと半世紀振りの再会です。介護を終え趣味の時間を過ごしている人、着物をリフォームして着て

参加した人のフアッシュンショールや、お隣の水戸一高の銅像が、一高生に手を振ると向きを変えてくれたとか、その銅像があった事など知らない人がいて、三年間協目も振らずに通っていたのね、と驚きと笑いでした。他にも色々な話が出て3時間を賑やかに過ごし、最後に全員で手をつなぎ尾崎紀世彦さんの「また会う日まで」を合唱して、次回を楽しみに会を終えました。その後二次会になり、会場をレストランに移し、1時間程おしゃべりの続きをしました。それでも話はずきませんでした。歩く会から古希の会と楽しい1日を過ごす事が出来ました。



### 還暦クラス会

昭・51・昔  
武蔵 みよ子(赤岡)

平成29年7月30日、水戸京成ホテル一階スミスにおいて、昭和51年卒業3年4組のクラス会が開か

れました。今回は卒業してから10回目、私達も還暦を迎える記念すべきクラス会になりました。

還暦クラス会ということで、久しぶりの方や卒業以来初めてという方、遠くから帰郷された方などの参加もあり、24名が集まりました。また、今回も担任の小野久江先生が出席してくださいました。小野先生は毎回お顔を見せてくださるのでも、小野先生にお会いできる！という思いも出席の動機になっていると思います。

会場入り口に設けられた受け付けで幹事が準備していると、予定時刻より随分早く一人、また一人と懐しい友が集まってきました。「久しぶり！ わかる？」「わかるわよ！」と再会を喜び合う声が響きました。そして、小野先生がここにこと歩いていらっしやると、さらに歓声が上がりました。「わあ！先生！」「お元気でしたか？」「とみんなが先生の周りに集まり、さながらアイドルのようでした。

会食のときの近況報告では、前回は東日本大震災の後でしたので、震災時に経験したことを中心に、社会に出始めた子供達のことなどが話題になりましたが、今回は、介護や健康のこと、子供の手が離れ趣味を楽しんでいること、続けている仕事のことなどで盛り上がりました。卒業して40数年、それぞれ様々なことに

出会い乗り越えてきています。お互いに背き共感しながら話し合うことができるのもクラス会ならではのようです。

小野先生は、77歳を迎えられたとのこと、「あから、喜寿だね。クラス会開いてよかったね」という声も聞こえてきました。先生は現在携わっている活動について話してくださいました。皆女子高生のように先生の言葉に耳を傾けていました。

次回は3年後の予定です。これからも懐しい友が集まり、先生を囲んで楽しく語り合うクラス会が続いていくことを願っています。



筆者は前列左端

### 同窓会「あおい会」役員一覧

役職	氏名	卒業年
顧問	石井千代乃(飛田)	昭和24
会長	加藤 正子(菱沼)	昭和34
副会長	宮田満里子(大曾根)	昭和37
常任幹事	中野喜美子(菊地)	昭和37
	小川 里恵(川口)	昭和41
	吉成 隆一	昭和49
	大信 淑子(伊藤)	昭和31
	小貫 早苗(磯崎)	昭和45
	増田 昌子(坂佐井)	昭和48
	諸星 恭子(諸星)	昭和48
	大山 靖子(飛田)	昭和50
	所 友子(渡辺)	昭和52
	小室久仁子(廣田)	昭和54
	吉岡 道予(大内)	昭和57
	軍司 史代	昭和58
	編引志雅子(山本)	昭和63
	関根 理恵(倉持)	昭和63
	野野 典子(野野)	平成2
	宮田 桜子(宮田)	平成2
監事	草川 徳子	昭和41
	高野 宏子	昭和45

平成30年3月現在

# とぎの ひと

ウエディングプランナーに就いて

昭・60・世  
勝田 直恵

「笑顔でできる仕事があったい」保育士として子供達の笑顔に囲まれていた私が体調をくずし、転職を考えた時、「この様に思い、出会ったのが「ウエディング」という世界でした。

今までとは全く違う世界に戸惑いながらも、幸せな二人の新しい人生のスタートとなる大切な一日をお手伝いし、たくさんの方々の笑顔に出会いながら、気付けば26年。現在は、大工町のホテルにウエディングプランナーとして勤めております。

結婚式・披露宴をするのが当たり前だった当時と比べ、今は「ナシ婚」とよばれる、入籍だけで済ませる方も増えて参りました。お金がかかるし、面倒だというイメージを抱く方が多くなった様です。



ですが、千組を超える披露宴をお手伝いし、会場に立会い感じること、人は生まれてからたくさんの人と関わり、たくさんの人に支えられて今があるのだということ。そして、披露宴はそんな方達に感謝を伝える場であるということ。人と人との繋がりや絆を、これからもつないでいく場であるということになります。

今、ウエディング業界は多くの課題を抱え、私も日々模索中ですが、結婚披露宴という温かくて、優しさと笑顔があふれる素敵な場を、多くの方に経験して頂き、その魅力を伝えていきたいと感じています。

「笑顔でできる仕事があったい」そう思って飛びこんだ世界ですがウエディングプランナーという響きからイメージされる程、華やかな仕事ではなく、失敗は許されな

いというプレッシャーから、この仕事から離れようかと思ったこともありました。でも、やはり披露宴の雰囲気が好きで、幸せな笑顔に出会えることが幸いで、お客様の笑顔と「ありがとう」という言葉に支えられ、お陰様で毎日笑顔で仕事を続けられています。

新郎新婦様の親御様の年代と違った今、いつか、三高の同級生のお子さんの披露宴をお手伝いさせて頂く日が来るかも！と楽しみにしています。

## 「あおい会」研修視察報告

昭・48・世  
常任幹事 諸星 慈子(諸星)

より良い同窓会組織の活性化を目指し、他校の同窓会会館等を見学し、また同窓会活動の運営方法などを知る目的で平成29年9月15日金曜日、水戸二高秀秀会と水戸一高知道会を訪問致しました。同窓会「あおい会」からは、

宮田会長と5名の常任幹事(大信、小貫・大山・軍司・諸星)の6名で参加しました。午前10時に訪問した水戸二高では、副会長を初めとする6名の役員の方々に迎え



水戸一高知道会館外観

水戸二高秀秀会館内

水戸一高知道会には、午後1時30分に訪問し、幹事長始め4名の役員の方々に迎えて頂き、1時間半お話を伺いました。総会運営は30歳・40歳・50歳のクラス幹事で年代別役割分担が決められ、同時に学年同窓会の実施を促す役割もしていました。100周年で一年表の作成、知道会館の建設を、現在140周年記念事業に向けて、年表の作成や募金委員会を立ち上げ活動中でした。その中で、電子黒板の設置、海外研修制度を実施など会員の視察だけでなく、母校支援に力を入れている活動が光っていました。

以上、両校とも環境整備が整い、役割分担が明確化され、更に長期目標に向けての地道な取り組みが行われている点素晴らしいと思いました。同窓会の様々な活動を通し、共に協力して活動する中で会員同志のコミュニケーションが図られ、会員の視察や人脈の広がりに繋がる点の効果を共感しました。

なお水戸二高秀秀会同様、週3

今回の研修視察では、大変和やかに会話が弾み、相互の理解や親交を深めることが出来たことに感動し、歴史ある2つの高校の同窓会活動を知る機会が得られ、大変実のある研修会であったと感じて

います。「あおい会」常任幹事新人の私としては、同窓会組織の意義、同窓会運営の在り方を考える良い機会となりました。

そして、今ある「あおい会館」の利用・活動が可能ならば、同窓会としての発展にも大きく寄与出来るのではと感じました。ゆくゆくは、会議する場所の確定や、パソコン・印刷機・事務机・戸棚・電話など順次環境整備していくことで、同窓会の運営活動全てが円滑に行くようになれば良いと思いました。さらには、100周年記念事業等で新同窓会館が設立され、在校生・同窓生の活動の新たな拠点になれば、こんな素晴らしいことはないと感じました。

千里の道も一歩からです。地道に着実に歩む努力をしたいものです。最後に今回の研修視察にあたり、貴重な時間を割いて頂きました水戸一高知道会・水戸二高秀芳会の同窓会役員の皆様本当にありがとうございました。また企画運営の段階で両校との連絡調整に当たりご配慮頂きました所友子さんと古成隆一先生には大変お骨折りを頂きました。皆様にご心より感謝し、研修視察の報告と致します。

## 学校は いま

[NORAGI]NEXT「J」BOYZ

3年K組

門脇 瑞姫



たNORAGI

3年家政科

9名は、昨年

5月に行われ

コンテスト」に参加しました。

茨城県が舞台となった連続テレビ小説「ひよっこ」にちなんで開催されたイベントで、若手農家と高校生が、農作業着である野良着をイメージアップさせる目的で行われ、県内の高校7校が参加しました。

内容は、農業体験を通して機能性・ファッション性に優れたデザインを考え、男女2着の野良着を製作するというものでした。私たちはネギ農家さんとタッグを組みました。

私たちは「青春をもう一度」というテーマで、レディースは私

ちの制服であり、「ひよっこ」にも登場したセーラー服を、メンズはそれに合わせて学ランをイメージした野良着を製作することになりました。実際に農業体験をして不便だと思った点を挙げていき、改善策として通気性を良くするため、背中や脇にメッシュを使用する、ズボンにネギの出荷の規定サイズに合わせた長さのラインを入れるなど、たくさんのアイデアが詰まった作品を完成させました。

コンテストはファッションショー形式で行われました。水戸三高は、ネギに見える傘を使っての相合傘で登場、リボンで結んだ花束に見立てたネギで告白をするシーンなど、ダンスを交えて作品

をアピールし、ミュージカルのような演出で観る人を楽しませました。コンテストの様子は後日NHKでテレビ放送されました。

結果は、最もチームワークの良い学校としてひよっこ賞という賞をいただくことができました。グランプリを目指して頑張っていたので悔しい結果となりましたが、全力を尽くしたので後悔はありませんでした。

作品が完成した時の感動、舞台袖での緊張感、終わった瞬間の達成感は今でも忘れられません。家で科で学んだ技術を生かし、メンバー全員で作品を作り上げたこと、ひとりひとりが責任感を持って取り組まなければできなかったことなど、メンバー全員にとってこれからそれぞれが進む道でも必ず役に立つ貴重な経験となりました。

### 全国大会1位に輝く

富永春菜さん

平成29年12月6日、横浜市の横浜みなとみらいホールで開かれた「第71回全日本学生音楽コンクール全国大会 声楽部門高校の部」で、本校音楽科3年の富永春菜さんが1位に輝いた。「会場の人に自分の歌を聞いてもらえているのが嬉しくて、あつという間に終わってしまった」と満足そうな表情で喜びを語ってくれた。

中学生の時、学校の有志の合唱団に入り、ソロの部分を担当する経験を通して、一人で歌う楽しさを知ったという。音楽科のある高校に入り、片道2時間かけて、通

っている。将来はプロの歌手を目指したいという。

受け、春の選抜高校野球の開会式にて国歌を歌うことが決まっている。(毎日新聞より一部参照)



県庁へ表敬訪問 (本人 中央)

M組	K組	6組	5組	4組	3組	2組	1組
後藤 翔	大越 未来	石川 莉羽	石崎 愛彩	工藤 未佳	菊池 菜々	秋山 宙	赤堀 桃子
林 穂乃花	門脇 瑞姫	佐藤 心	徳知 希美	賀川 莉歩	小田部 朱音	岡久 達天音	塚 有精

新会員301名

## 同窓会あおい会

## クラス幹事

(平成30年3月卒業)



校歌碑の前でクラス幹事集合写真

2019年 水戸三高同窓会「あおい会」  
総会・懇親会のお知らせ

日時 2019年6月23日(日)

受付 11:00 ~

総会 11:30 ~ 12:00

懇親会 12:00 ~ 14:00

会場 大洗シーサイドホテル  
電話029 (267) 2111  
大洗町磯浜町6881 (大洗磯前神社下)

会費 6,000円



クラス幹事から「同窓会のお知らせ」が届く事になっていきます。

参加ご希望の方は、6月3日(月)までにクラス幹事を通してお申込み下さい。同窓会参加について詳しく知りたい方は、事務局へ問い合わせるか、又は「水戸三高ホームページ」あおい会事務局専用メールアドレスをご覧下さい。

※注意※ 参加申し込み後、都合で出席できなくなった場合は、必ず6月17日(月)までに事務局へご連絡下さい。(連絡なく当日欠席の場合は会費をご送金いただくこととなります。)

今回の同窓会運営、進行に当るクラス幹事は下記の学年です。

昭和44年、49、54、59、平成元年、6年、11、16、3月の卒業生です。

## 水戸三高同窓会あおい会事務局

TEL 029-224-2044 FAX 029-225-4524

ホームページ <http://www.mito3-h.ibk.ed.jp/>事務局専用メールアドレス [aokikai@mito3-h.ibk.ed.jp](mailto:aokikai@mito3-h.ibk.ed.jp)

●校歌のCD・同窓会あおい会「会員名簿」のご注文及び名簿内容の変更依頼(住所やクラス幹事等)は、必ずFAX又はメールで事務局までご連絡下さい。

## 校内事務局員の先生方

栗田(照沼) 蒼子…英語

岡本(富田) 庸子…音楽

深澤(深澤) 昌美…家庭

(2018年3月現在)

あおい会クラス幹事になって

平・30・昔・1組

赤堀桃子



様々なことを学び、今日卒業の日を迎えました。

私は、高校生活を通して「想いを伝えることの大切さ」を学びました。悩んだ時、壁にぶつかった時、側で支えてくれる友人や、声をかけてくれる先生方の存在にいつも

あつという

間の3年間を過ごし、新しい出会いから

助けられました。私は自分の思い

を口にしてきませんでした。人

と関わる中で言葉にしなければ伝わらず悔しい思いをした経験を生かして、相手に行動で示す大切さを

学びました。話すこととお互いに物事を認識できる大切さを再認識し、更に充実した学校生活を送ることができました。また、進路実

現できたのも、学年外の先生も快く問題解説や相談を受けて下さる

など、多くの先生のご指導があったことだと思います。この感謝の

気持ちを忘れずにこれからも人として成長していきたいです。

3年間で多くの人と関わり、一

緒に頑張る仲間と出会えました。

その仲間も、これからは別々の道へと進みます。今の自分があるこ

とへの感謝の気持ちを忘れずに、支えてくれる人や応援してくれる

人を大切にしていきたいです。そして、水戸三高での3年間をしつ

かりと胸に刻み、新生活への力に変えていきたいと思っています。

## 編集後記

グローバル化という言葉をよく耳にしますが、これは世界がポータリティ化し、競争がより激化することを意味します。ここで大切なことは、自分の基盤となるものを大事にすることだと思っています。その一つが、私たちに与った水戸三高であり、同窓会「あおい会」なのです。自分の歩んで来た人生や、水戸三高で学んだことを振り返るために、「あおい会」の活動をおして、一緒に手を携えて歩んでまいりましょう。

編集委員

小園 早苗 深澤 昌美

富田 悠子 富田 満里子

諸星 恭子 吉成 隆一

(五十音順)

